

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.245)

1. 環境大臣から豊田市に感謝状

8月5日に、八木哲也環境副大臣が豊田市役所を訪問され、太田稔彦豊田市長に環境大臣からの感謝状が贈呈されました。



副大臣からは、豊田市と豊田市民のご理解とご協力により、20年に亘るPCB廃棄物の処理が令和6年3月で終了したことに対して、感謝の言葉が添えられました。

市長からは、「市民の理解を得ながら、東海4県のPCB廃棄物の廃絶に貢献できたことは大変喜ばしい。今後は、処理施設の解体が本格化するが、安全を前提に少しでも早期にPCB事業を終えるようにお願いしたい。」などの発言がありました。この贈呈式には、当社の鎌形社長も同席いたしました。

八木副大臣は市役所訪問のあと、当事業所をご視察されました。

当事業所の紹介ビデオの視聴と解体撤去工事状況を説明の後、処理設備を工程に沿ってご覧いただきました。

副大臣からは、処理事業が終了した当事業所設備の再利用の可能性や跡地利用等のご質問をいただき、PCBが付着した設備の再利用は難しいことや、土地は借地のため地主に返却の予定であることなどを説明しました。



(説明を受ける八木副大臣)

2. 解体撤去に向けた設備の液抜と洗浄作業



設備の解体撤去に向け、令和6年度以降の解体設備の液抜と洗浄計画に沿って作業を開始しましたが、作業の前には、JESCO担当者と運転会社作業員で当日の作業手順を確認し、KY(危険予知)を行ってトラブル防止に努めました。確実な液抜と洗浄を行い、今後の解体撤去工事の作業環境を整えていきます。

3. 夜間想定防災訓練を実施しました



(初期消火訓練)

当事業所は、一部の職場で24時間4班3交代の勤務体制をとっており、勤務者が少ない夜間でも限られた者で、迅速に災害被害を最小限に止めなければなりません。

そのため、8月に作業員全員が訓練を実施できるように、夜間の火災発生を想定した防災訓練を4回実施しました。

夜勤者は初期消火訓練を中心に、消火器や移動式粉末消火設備の操作、消防署への通報と発災現場への誘導、館内一斉放送と緊急連絡、豊田市への緊急通報等、少人数での行動と役割を確認しながら訓練しました。消防からは、初期消火活動は重要だが人命が最優先、火元からはある程度の距離を保ち、消火活動中に熱いと感じたらすぐに退避することが最も重要と教えていただきました。

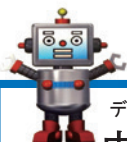


(人員点呼の報告)

4. 交通安全街頭活動を行いました

子どもたちの夏休みも近づいた7月11日に、豊田市の「夏の交通安全市民運動」に参加しました。

当事業所からは、JESCOと運転会社の社員13名が、交通安全の横断幕やのぼりを立て、タスキやハンドサインなどを示しながら、ドライバーに安全に配慮した運転を呼びかけました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

